

2番（近藤 敏彦君） 一般質問初日ですが、大変お疲れのことだと思いません。本日最後となりましたが、よろしく願いをいたします。

この3月定例会は、早いもので、初めてこの場に立たせていただいてから丸1年となります。この間、いろいろと勉強をさせていただきましたが、まだまだであります。今後もさらなる勉強をさせていただき、よりよい東員町となりますよう、尽力をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さて、今回私は2点の質問をさせていただきます。

まず1点目ですが、町長にお尋ねいたします。

12月にイオンショッピングセンターがオープンの予定となり、今後大勢の人々が町外から来てくださることが見込まれます。町としては、このチャンスをどのように生かしていくおつもりでしょうか。具体的なプランがあれば、お聞かせ願います。

議長（藤田 興一君） 水谷俊郎町長。

町長（水谷 俊郎君） 近藤議員のご質問にお答えをさせていただきます。

議員ご案内のとおり、仮称ですが、イオンモール東員がオープンすれば、小さなお子様から高齢者まで、幅広い年代層の、多くの方々に来ていただけることが予想されます。このことは、東員町を知っていただくのに絶好のPRの機会であると考えております。

東員町は古くからの歴史、文化が受け継がれ、自然の恵みが豊かな住みやすいまちでございまして、東員町の魅力、中部公園などの町施設の紹介、北勢線の魅力につきましても、関係各機関が一体となってPRを進めていく必要があると考えておりますので、議員におかれましてもご協力を賜りますよう、よろしく願いを申し上げます。

観光のPR、決定打はなかなかありませんので、地道に来ていただいた方々に、この東員町の魅力をお示しをし、PRをしていくことかなというふうなことを思っておりますし、もう1つ、我々がこのまちで住んでよかった、やっぱりこのまちは住みやすいまちなんだということを、来ていただいた方々が知っていただけるような機会があればというふうに私は考えておりますので、そのためにも来ていただいて喜んでいただける、そして住んで本当によかったなというまちをつくっていくことが、一番大きなことだというふうに思っております。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） ご答弁ありがとうございます。

先ほどの答弁の中で、北勢線も含めてPRをしていくいいチャンスだと思います。今後北勢線に乗って、このまちにどんどんお客さんが来ていただけるような、そういう施策も必要ではないかと今実感いたしました。

近隣市町の例をとって申しますと、菰野町などは、最近、片山温泉がリニューアルをいたしまして、温泉施設をはじめ、有名なシェフによるスイーツが大変うけているようで、町外というよりも、他県からもたくさんのお客様が来られて、大変にぎわいを博しておるようです。

また、御在所岳を中心として、ロープウェイでのレジャーや登山、そして湯の山温泉で宿泊をするといった、観光面でのトータル的な受け皿が充実しており、集客力が大きいように思われます。

普段町長は、東員町には受け皿がないと言われておりますが、今年こそイオンのオープンに合わせて、中部公園を含めた受け皿の創出や拡充を図っていく、いいチャンスだと思います。菰野町のように観光スポットが豊富にあるわけではございませんが、今から作り出すことは可能だと思います。

これは箱物をつくるという意味ではございません。あくまでも創造するという意味でございますので、ご留意いただきたいと思っております。

また、大社祭りの上げ馬神事などは、たくさんの方が見に来られ、一時的にはにぎわいますが、1年を通じてお客様に来ていただけるような方策を考えていく必要があると思っております。

中部公園に関していえば、今議会の議案にも上がっておりますいずみの家などは、障害者福祉施設でありながら、公園利用者が集える手段としても効果があるのではないかと大いに期待をしておりますが、管理棟内につくられた販売スペースも、今のところ稼働していないようです。聞くところによりますと、4月ごろをめどにスタートをするようですが、この売店も、人々がたくさん集まるようにするための工夫が大事だと思います。中部公園の活用などを含めましてどのようなお考えがあるのか、もう一度町長にお伺いします。

議長（藤田 興一君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 午前中に島田議員からもお話がありましたように、中部公園というのは、集客の施設の一つかなというふうなことは思わせていただいておりますが、今、議員おっしゃっていただいたような、いずみの店とか管理棟での売店だとかいうような、中部公園に付加価値をつけるようなものが非常に必要かなというふうなことを思っておりますし、また観光というのは、そこへ何らかのお金を落としていただくということが必要な要素だと私は思っております。

そういう意味で、たくさん来ていただくからいいんじゃないかと、たくさん来ていただいても、ごみだけ置いていってもらったのでは困るので、やはり町、あるいは町民の皆さんに、それ相応に来ていただいたメリットがあるというものがないと、やはり観光とはいえないんじゃないかなというふうなことを思っておりますので、そういう観点から、政策というものを進めてまいりたいなというふうなことを思っております。

具体的になるかどうかはわかりませんが、例えば今、北勢線の東員駅から役場の間に、町の顔となるコア施設というものを考えていきたいということを進めているわけですが、もしこれができれば、東員駅から役場の間、ずっと有機的につながっていく、そしてそのすぐ役場の裏に中部公園があるわけですから、東員駅から役場、そして中部公園、そしてもう1つ向こうのスポーツ公園までが有機的につながっていくのではないかなというふうなことを思っております。

今年の3月31日には、東員町で初めて陸上競技場で、女子リーグの伊賀のくのいち対岡山のなでしこリーグが開催されます。それに北勢線を使って来ていただいて、ずっと歩いてきていただくようなことを想像しているわけですが、できればその中で、ただ単に歩くだけではなくて、いろいろ散策しながらそこへ行ければ、時間的にも大変短いような感覚に、人というのはなるのではないかな、そういうことが全体的にまちづくりの中でできればなというようなことを思っておりまして、イオンができるから云々ではなくて、やはり我々は生活の中で、そういう空間をつくっていきたいというふうなことを考えております。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） 人の動線というものが非常に重要になってくるので、あろうと思います。東員駅を中心として人が入ってくる。

去年、商工会で商工祭を開かせていただいた際に、ちょうどコスモスが見ごろの時期でありました。今回は中部公園を利用させていただいての商工祭であったわけなんですけど、その際に三岐鉄道さんとタイアップをいたしまして、東員駅まで来ていただいて、東員駅から、ずっと先ほど町長がおっしゃられた役場に向かって歩いてこられて、中部公園を経由して、その後、大長駅までのウォーキングラリーを、その日にちょうど充てていただきました。おかげでたくさんの方が来ていただきまして、大変にぎわったことを覚えております。

観光というのは、どこへ行って、どこへ行ってと、1日をどういうふうにして過ごすかとか、そういった総合的なプランも必要じゃないかと思っております。

また、同僚議員が前々から言われておるんですが、道の駅だとか、まちの駅の設置についても進めたいと思っておりますけども、この辺のお考えはいかがでしょうか。

議長（藤田 興一君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 道の駅については、以前から421号線が滋賀県へトンネルを抜いて通じたということとか、今度、東員インターチェンジができることとか、いろんな要素によって、どこか適当なところで道の駅ができないものだろうかというようなお話も、議会の皆様からもいただいております。

また、まちの駅につきましては、島田議員から再三いろいろな話をお伺いしております。こんなことを言うと、前へ進んでいかんやないかというかもわかりませ

んけど、担当部署のほうで今検討をさせておりますので、これから観光という観点から、いろいろ考えてまいりたいというふうに思っております。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） 道の駅に関しましては、多少規模というか、それなりのことをやらんといかんということですが、まちの駅に関しては、簡単な費用で、簡単に進められるということをお聞きしておりますので、その辺も含めて、ぜひ進めていっていただきたいなと思っております。

あと、町のPRに関しましては、観光協会が前面に出ることが効果的であると思います。そのことを考えますと、今の中部公園の管理棟に事務所を構えるよりも、もっと目立つところ、例えば東員駅であるとか、役場庁舎の中でも、より目をひくところに移して、東員町観光協会はよく目立つし、とても力を入れているんだぞというようなところを町外に見せることで、より宣伝効果も大きくなると思いますが、いかがでしょうか。

議長（藤田 興一君） 水谷町長。

町長（水谷 俊郎君） 観光協会につきましては、私は観光協会のPRではなくて、町の観光に関するPRだと思っておりますので、観光協会がどういう役割を担っていただけるのかということに尽きるのではないかなというふうに思っております。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） 観光協会もいろいろと試行錯誤をしながら、今いろんなことをやっていただいていると思いますけども、大社祭りをはじめ、コスモスマつりだとか、いろんなこと、それ以上に、いろんなプランを練っていただければいいかなと思うんですけども、どうか観光協会のほうも商工会同様、どんどん予算の削減等を迫るようでありますと、とてもその活動が小さくなってしまうので、そのあたりも考慮していただければと思います。

いずれにしましても、イオンのオープンによって、人の流れが大きく変わるということは間違いがないと思います。これらの人たちが、その後、東員町に何度も足を運んでもらえるように、そして長い時間、東員町にとどまってもらうような方策を今から考えておくことが大切だということを承知していただきたく、お願いをいたします。

1点目の質問は終わらせていただきます。

続きまして、2点目の質問に移らせていただきます。

イオンショッピングセンターの起工式が1月29日にとり行われました。本格的な工事が始まり、工事中からオープン後にかけての子どもたちの通学や生活の安全についての対策をどう考えていらっしゃるのかを、総務部長にお尋ねをいたします。

議長（藤田 興一君） 日置直人総務部長。

総務部長（日置 直人君） 近藤議員の、イオンショッピングセンターと地域の安全についてのご質問にお答えをさせていただきます。

ご質問にありましたように、去る1月29日に起工式がとり行われ、現在本格的な工事が実施されているところでございます。

仮称ですが、イオンモール東員におきましては、三和小学校、三和幼稚園、みなみ保育園に隣接をしておりますので、計画の段階から子どもたちの通学、また生活環境の面から慎重に協議を重ねてまいりました。

今後は本年11月末の開店を控え、現在調整中ではありますが、先月18日に開催されました全員協議会での場で担当部署より申し上げましたように、関係の自治会、学校関係及び警察などの関係機関で構成をいたします「東員イオンショッピングセンター環境保全対策調整会議」を設置させていただくこととして、現在その会議に参画していただくよう、調整を図っているところでございます。

この会議では、イオンショッピングセンターの建設、営業に伴う環境保全の解決に向け、協議を行うこととしております。

この環境保全につきましては、当然子どもたちを取り巻く生活環境及び交通安全対策も含んでおります。

行政としましても、関係各課の連携をより一層密にして、情報の共有を図りながら、関係機関が十分に協議、連携がとれる体制を構築して取り組んでまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくご理解いただきますようお願いをいたします。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） ご答弁ありがとうございます。

昨年3月の私の質問に対する答弁で、通学の際には、イオン側にもパトロール等を要請していきたいという趣旨をおっしゃられました。もちろんパトロールも大事でありますけれども、その前の環境の整備をしっかりとやっていかなければならないと思います。

イオンの駐車場の周辺から中心を抜ける形で町道が通っております。その町道を通学路として利用するといったことを聞いておりますが、数多くの買い物客が行き交う駐車場の真ん中を生徒が毎日歩いて通学するなんてことは余りにも危険が多く、私は絶対に反対をいたします。

現在はそこを実際に通学路として使っておりますが、買い物客が全くいない今では、工事車両も入って来ず、ほぼ安全と言える状態のようです。ですが、果たしてオープン後も同じ状況であるということは全く考えられず、それこそ本当に一般のお客様であふれ返るといった光景は、だれの目から見ても明らかです。

それらのことを踏まえても、多少距離は遠くなくても、車から完全に隔離された三孤子川堤防やナルックスの脇を流れる養父川沿いを検討するべきと考えますが、

いかがでしょうか。

議長（藤田 興一君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） 通学路でございますので、私のほうからお答えを申し上げます。

学校の通学路と申しますのは、それぞれ年度によりまして、父兄の皆様が現地を確認していただいて、このルートでいこうかということを決定していただいております。経験上、前年度の道をほとんどの状況が変わらずであれば、その状況に応じて通学をいただいております。

しかしながら今、議員ご指摘のとおり、現在は何も施設が建っておりませんので、通学をしていただいておりますも安全かとは考えておりますが、工事中、何も無いようにということは、イオンモールにもきっちり伝えさせていただいております。

当然施設が建ってまいりますと、環境が変わってまいりまして、その段階で、ご父兄にどこを通っていただいたらいいのかということを実際に検討いただいて、その後また調整会議の場で、こういうところを通りたいという希望があるから、これに対する安全対策を、地域として、またイオンとして、また役場としてどうしたらいいのかということを検討していきたい、そのように考えておりますので、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） 今は本当に安全な、何も無い駐車場の中を歩いておるわけですが、どんどん工事が進むにつれて、そこもだんだん危険が増してくるように思われますもので、ぜひとも再考をいただきたいと思います。

通学路に関して申しますと、完全に車道と歩道が分離されていることが望ましく、また車道を横断する箇所が極力少ないコースで、横断の際は歩道橋がよいと思いますけれども、さまざまな制約などがあって難しいと思われるので、最低限、横断歩道は設置していただいて、イオン側の警備員やシニアクラブ、保護者などの地域の方々の協力を得ながら、強力に安全を確保していかなければならないと思います。

それから、先ほどから調整会議のことが何度も出てきましたが、念のため申しますが、東員イオンショッピングセンター環境保全対策調整会議という会議が、イオン、いなべ警察署、南大社、長深、中上の各自治会のほか、三和小学校とPTA、三和幼稚園、みなみ保育園、そして役場の関係部署により構成されたと聞きました。これはまだ開催はされていないようでございますが、今後いつごろ開かれる予定なのか、お聞かせください。

議長（藤田 興一君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

2月19日の全員協議会で、この案で、まずは調整させていただきたいというご説明をさせていただきました。幸い、イオンの現場のほうに、イオンモール東員準

備室というのが立ち上げられまして、名古屋まで協議を持っていかないといかんかなと思ってましたら、そちらのほうで協議は承るということで、政策課長と私どもの建設課長と2名が、そちらのほうにお邪魔をさせていただきまして、今現在、私どもからつくりました規約をお示しをいたしております。

この規約につきまして、イオンにおかれましては、本社のほうで少し検討させていただきたいというお返事をいただいております。それで帰ってまいりましたら、またいなべ警察のほうにも、こういうふうに立ち上げたいというのでご参加いただきたいという調整を図って、本来であればこの3月末には開きたいのですが、できるだけ早く第1回目の会合を開かせていただきたいというふうに考えております。

以上でございます。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） わかりました。

現時点で生徒の保護者の方々をはじめ、地域の方々具体的な内容を知らされておらず、不安が募るばかりというのが実情であります。調整会議を早急に開いていただき、その時々での情報を町民の皆様に向けて逐次発信していくことが大事だと考えますが、いかがでございましょうか。

議長（藤田 興一君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

それぞれ学校、PTA、保育園、幼稚園、自治会、地域の皆様の代表が出てきていただいておりますので、細かくは、それぞれの代表者から下部へ流していただくのが一番早いとは思いますが、できる限り皆さんにその内容をお知らせできるように、ホームページ等で掲載できるのか、その辺もあわせて考えさせていただきたいと存じます。

以上でございます。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） 今の時点で私が聞き及ぶところによりますと、情報が今のところ大分乏しいということであって、特に父兄の皆様方は通学路のことを心配なさっております。準備室がすぐ建設現場のところにあるということですので、意思の疎通をもっと図っていただき、情報はスピーディーに流していただけないかなと思います。

また、三和幼稚園の園児たちは、イオンに面した歩道を通って散歩に出かけることがよくあるそうです。その歩道は現在は縁石が設置されておりますが、できたらガードレールなどの設置をしてほしいといった声も届いております。

このような要望や不安の声を聞き、それらに対して具体的な返答をしていくことが必要であり、地域の人々は、それを聞いて安心をするといったやりとりを早い時期からしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

議長（藤田 興一君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

この調整会議が、まさしく今、議員からご指摘のあるスピーディーな解決、例えば何か問題がありましたら、自治会から申し出があればすぐに開くと、警察についてはなかなかこちらの要請ですぐというわけにまいらんかもわかりませんが、あとは地元の関係者ばかりでございますので、何かあればすぐに対応できるかな、また、当然私ども、東員町の役場は、一部総務部だけが入ってないのですが、全部署が入っているような形でございますので、どこの関係機関であっても、すぐ招集させていただいて、対応してまいりたい。

今、縁石をガードレールに。これも途中で4月から開催させていただいた時に、直接、幼稚園のほうから提案をしていただいて、そこにイオンモールの代表者がおりますので、そこでどういう返事がなされるかということも、皆さん聞いていただいておりますので、私どもも当然その立場で支援をさせていただいて、イオンに要求をしていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いを申し上げます。

議長（藤田 興一君） 近藤敏彦議員。

2番（近藤 敏彦君） ちょっとお聞きしたいのが、先ほども私述べたように、歩道橋だとか、横断歩道の設置だとか、ガードレールの設置だとか、道を管理している関係部署、県が管理しているのか、国が管理しているのか、その辺も違いはあるとは思いますが、そういった要望、要請に対して、どの辺まで町として関与していただけるものなのか。実現は簡単にはできないかもわかりませんが、どのような感じで考えていらっしゃるでしょうか。

議長（藤田 興一君） 藤井建設部長。

建設部長（藤井 浩二君） お答えを申し上げます。

道路交通法に関する問題につきましては、例えば横断歩道とか一旦停止、これは警察が当然現場を見まして、必要に応じて、私どもの要望箇所につきましては、すべて現地を確認した上で、設置、非設置の回答をしております。

現在のイオンさんが当初書かれた道路計画、いわゆる旧の国道365号線、また新しい365号線の改良は、イオンが責任持つてすることとなっております、またそこには横断歩道、信号等の設置が計画をされております。これについては、すべて警察の協会ですね、そちらの許可をとられて、今協議がなされて進んでおります。

その辺も当然必要とあらば、その場に出していただいて、これはこうだねという論議もしていただけるかなと思っております。

また、当初、新しい365号線ができました時に、皆さんの要望は、アンダーボックスの下を、道路の下を通って通学をしたいということでありましたので、大きなアンダーボックスを入れて、照明もつけさせていただきました。完成しましたら、今度はPTAの皆さんが、いや、上を通らないと危ないということで、また上に戻



られました。それぞれの時代の、それぞれの父兄のお考え方が違いまして、それを整理していただいて、PTAの1本の要望で、皆さんとともに安全対策をしていきたいと思っております。

ガードレールなんか、私どもがつけれるものについては、私どもがつけます。また、県に要望するものは県に要望してまいりますので、どうかご理解賜りたいと思います。

議長（藤田 興一君） 近藤議員。

2番（近藤 敏彦君） その時その時の情報ですね、わかってる分はなるべく早く、部分的にでも結構ですので、住民の方々にお知らせいただきますと、それなりの理解も得られると思いますもので、なるべくわかったところからでも結構ですから、発信していただければと思います。

先ほどのアンダーボックスの下を通る、上を通る、その時その時の状況があると思いますけども、南部武司議員もちらっとおっしゃられてましたけども、オレンジバスの活用ですね、その辺も、こういう方法もあるんやなと気がつかされたわけなんですけど、確かに私ども、40年ほど前、小学校に通っていたころは、八風バスに1年生から3年生までは乗って通っておりました。ランドセルに定期券をぶら下げて、みんな通った覚えがありますけども、そういった歩くだけではなしに、オレンジバスの活用もあるのかいなと、その辺も含めて考えていただければなと思います。

確かに歩くことは健康にもいいことでありまして、中上の子は余り風邪などをひかないようでありまして、歩くこともいいのかなとは思いますが。

同じ色のカラー帽子をかぶって、手をつないで、にこにこ顔で散歩をする園児たちや、雨の日も雪の日もランドセルを背負い通学をする児童たちの安全は、私たちの責任で必ずや守っていかねばなりません。早目早目からできることはやっていくことで、安全と安心を町民の皆様にアピールすることが、今の時点では大変重要なことだと思っております。

どうか利益を優先するのではなく、生命とその暮らしを優先に進めていただきたいと切に願うところであります。

早い時間ではありますが、以上で私の質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。